



平成22年8月期 第3四半期決算短信

平成22年7月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー・インターナショナル
コード番号 3605 URL <http://www.sanei.net>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日
配当支払開始予定日 —

(氏名) 三宅孝彦
(氏名) 鈴木忍

TEL 03-5467-9910

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年8月期第3四半期の連結業績(平成21年9月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年8月期第3四半期	77,428	△11.4	2,293	△8.1	2,060	△3.5	351	—
21年8月期第3四半期	87,426	—	2,495	—	2,135	—	△494	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年8月期第3四半期	20.95	—
21年8月期第3四半期	△29.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年8月期第3四半期	60,138	29,157	47.5	1,702.47
21年8月期	56,577	29,291	51.2	1,726.75

(参考) 自己資本 22年8月期第3四半期 28,567百万円 21年8月期 28,974百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年8月期	—	0.00	—	25.00	25.00
22年8月期	—	0.00	—	—	—
22年8月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年8月期の連結業績予想(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,500	△9.2	850	—	340	—	△640	—	△38.14

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年8月期第3四半期	17,780,200株	21年8月期	17,780,200株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年8月期第3四半期	1,000,342株	21年8月期	1,000,342株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年8月期第3四半期	16,779,858株	21年8月期第3四半期	16,779,858株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている当社の業績見通しは、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部の企業収益が改善するなど緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、依然として厳しい雇用情勢や個人所得の伸び悩みなどを背景に、アパレル関連の消費マインドは総じて低調に推移しました。

このような環境にあって当社グループは、希望退職者の募集、グループの生産・物流機能を集約するための新会社設立、平成23年4月に本社を東京都渋谷区から東京都世田谷区へ移転することを決定するなど、コスト構造の抜本的見直しと業務の効率化を積極的に推進しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は774億28百万円（前年同四半期比11.4%減）、営業利益は22億93百万円（前年同四半期比8.1%減）、経常利益は20億60百万円（前年同四半期比3.5%減）となりました。また、賞与引当金戻入額を含む特別利益1億60百万円、希望退職関連費用3億7百万円、本社移転費用2億38百万円等を含む特別損失6億37百万円を計上し、四半期純利益は3億51百万円（前年同四半期は4億94百万円の四半期純損失）となりました。

事業区分別の売上概況は次のとおりです。

事業区分	売上高(百万円)	比率(%)	前年同四半期比(%)
アパレル事業			
オリジナルブランド事業部門	53,784	69.5	84.8
ライセンスブランド事業部門	9,604	12.4	98.4
その他アパレル事業部門	13,942	18.0	98.2
アパレル事業小計	77,330	99.9	88.5
その他事業	97	0.1	156.7
合計	77,428	100.0	88.6

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

〔オリジナルブランド事業部門〕

「ジル バイ ジル スチュアート」、「パーリーゲイツ」、「アドーア」、「マーガレット・ハウエル」等の一部ブランドが健闘したものの、総じて売上は低迷しました。なお、「ナチュラルビューティーベーシック」から派生した新ブランド「エヌ ナチュラルビューティーベーシック」、「パーリーゲイツ」の新ライン「マスターバニーエディション」をそれぞれ立ち上げました。

以上の結果、この部門の売上高合計は537億84百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。

〔ライセンスブランド事業部門〕

「ケイト・スペード ニューヨーク」、「バービーキッズ」が比較的堅調に推移したものの、その他のブランドが苦戦し、この部門の売上高合計は96億4百万円（前年同四半期比1.6%減）となりました。

〔その他アパレル事業部門〕

「アングローバルショップ」が比較的堅調に推移したものの、この部門全体としては低迷し、売上高合計は139億42百万円（前年同四半期比1.8%減）となりました。

〔その他事業〕

(株)イント・トラベル、(株)ブラックス等の事業によるこの部門の売上高合計は97百万円（前年同四半期比56.7%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成21年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	増 減
総 資 産	56,577	60,138	3,561
負 債	27,286	30,980	3,694
純 資 産	29,291	29,157	△133
自 己 資 本 比 率	51.2%	47.5%	△3.7%
1株当たり純資産	1,726.75円	1,702.47円	△24.28円

総資産は、未収入金の回収等による流動資産「その他」の減少（前期末比6億78百万円減）、投資有価証券の評価差額等による投資その他の資産「その他」の減少（前期末比4億86百万円減）等があったものの、現金及び預金の増加（前期末比23億85百万円増）、たな卸資産の増加（前期末比27億7百万円増）等により、35億61百万円の増加となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の増加（前期末比13億35百万円増）、未払法人税等の増加（前期末比7億59百万円増）、賞与引当金の増加（前期末比7億21百万円増）、未払消費税等の増加等による流動負債「その他」の増加（前期末比7億8百万円増）等により、36億94百万円の増加となりました。

純資産は、少数株主持分の増加（前期末比2億70百万円増）等があったものの、利益剰余金の減少（前期末比67百万円減）、その他有価証券評価差額金の減少（前期末比2億83百万円減）等により、1億33百万円の減少となりました。

以上の結果、1株当たり純資産は24.28円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年5月14日に発表いたしました連結業績予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められたので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,440	13,054
受取手形及び売掛金	7,737	7,217
商品及び製品	10,970	7,974
仕掛品	301	597
原材料及び貯蔵品	152	144
その他	1,989	2,667
貸倒引当金	△56	△45
流動資産合計	36,535	31,611
固定資産		
有形固定資産	6,690	7,095
無形固定資産	4,049	4,478
投資その他の資産		
敷金及び保証金	9,373	9,536
その他	3,540	4,026
貸倒引当金	△51	△171
投資その他の資産合計	12,863	13,391
固定資産合計	23,603	24,965
資産合計	60,138	56,577
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,741	12,405
短期借入金	141	340
1年内返済予定の長期借入金	1,921	2,298
未払法人税等	946	186
賞与引当金	1,598	877
役員賞与引当金	28	—
ポイント引当金	219	193
株主優待引当金	7	11
返品調整引当金	399	177
その他	4,689	3,981
流動負債合計	23,692	20,473
固定負債		
長期借入金	5,398	5,018
退職給付引当金	349	307
役員退職慰労引当金	638	629
その他	902	856
固定負債合計	7,288	6,812
負債合計	30,980	27,286

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,376	7,376
資本剰余金	7,455	7,455
利益剰余金	16,844	16,912
自己株式	△2,001	△2,001
株主資本合計	29,674	29,741
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△824	△540
繰延ヘッジ損益	△12	1
為替換算調整勘定	△270	△228
評価・換算差額等合計	△1,106	△767
新株予約権	298	294
少数株主持分	291	21
純資産合計	29,157	29,291
負債純資産合計	60,138	56,577

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	87,426	77,428
売上原価	42,055	36,570
売上総利益	45,370	40,858
販売費及び一般管理費	42,874	38,564
営業利益	2,495	2,293
営業外収益		
受取利息	17	6
受取配当金	24	11
不動産収入	130	147
為替差益	—	20
その他	97	98
営業外収益合計	269	284
営業外費用		
支払利息	85	88
店舗等除却損	418	395
為替差損	67	—
その他	58	33
営業外費用合計	630	517
経常利益	2,135	2,060
特別利益		
固定資産売却益	—	10
賞与引当金戻入額	—	97
関係会社株式売却益	—	15
貸倒引当金戻入額	—	5
賃借料精算益	—	31
特別利益合計	—	160
特別損失		
固定資産除却損	—	9
減損損失	80	—
投資有価証券評価損	932	—
関係会社整理損	—	82
希望退職関連費用	—	307
本社移転費用	—	238
特別損失合計	1,012	637
税金等調整前四半期純利益	1,122	1,583
法人税、住民税及び事業税	1,806	1,115
法人税等還付税額	—	△132
法人税等調整額	△191	185
法人税等合計	1,614	1,168
少数株主利益	2	62
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△494	351

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
売上高	28,199	25,304
売上原価	12,507	11,081
売上総利益	15,692	14,223
販売費及び一般管理費	13,648	12,666
営業利益	2,043	1,557
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	0	0
不動産収入	40	51
為替差益	14	—
その他	24	37
営業外収益合計	83	91
営業外費用		
支払利息	33	29
店舗等除却損	102	113
為替差損	—	0
その他	10	8
営業外費用合計	146	151
経常利益	1,980	1,497
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	5
投資有価証券評価損戻入益	621	—
賃借料精算益	—	31
特別利益合計	621	36
特別損失		
固定資産除却損	—	9
希望退職関連費用	—	307
本社移転費用	—	238
特別損失合計	—	554
税金等調整前四半期純利益	2,602	979
法人税、住民税及び事業税	1,369	752
法人税等調整額	△471	△16
法人税等合計	897	735
少数株主利益	6	49
四半期純利益	1,698	194

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,122	1,583
減価償却費	2,556	2,286
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	126	△109
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	40	41
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6	8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△83	721
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	28
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	334	221
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	40	26
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	7	△3
受取利息及び受取配当金	△42	△17
支払利息	85	88
店舗等除却損	383	324
減損損失	80	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	932	—
賃借料精算益	—	△31
関係会社整理損	—	82
希望退職関連費用	—	307
本社移転費用	—	116
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,294	△513
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,235	△2,707
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,614	1,335
その他	△374	294
小計	2,301	4,080
利息及び配当金の受取額	42	17
利息の支払額	△87	△86
法人税等の支払額	△1,600	△449
法人税等の還付額	—	331
営業活動によるキャッシュ・フロー	655	3,894

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	51	500
有価証券の償還による収入	199	—
有形固定資産の取得による支出	△1,948	△1,523
有形固定資産の売却による収入	4	6
投資有価証券の取得による支出	△44	△15
無形固定資産の取得による支出	△1,004	△17
無形固定資産の売却による収入	—	10
敷金及び保証金の差入による支出	△1,566	△440
敷金及び保証金の回収による収入	594	978
長期前払費用の取得による支出	△320	△76
子会社株式の取得による支出	△71	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	10
その他	102	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,004	△535
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	149	△193
長期借入れによる収入	3,364	1,805
長期借入金の返済による支出	△1,569	△1,802
配当金の支払額	△838	△419
少数株主からの払込みによる収入	—	220
少数株主への配当金の支払額	△8	△4
その他	△24	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,073	△441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△429	△30
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,704	2,885
現金及び現金同等物の期首残高	15,807	12,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,103	15,370

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

アパレル事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日）並びに前第3四半期連結累計期間（自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年5月31日)	前連結会計年度末 (平成21年8月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 10,599百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 9,823百万円
※2 過年度に取得した固定資産のうち、障害者作業施設設置等助成金による圧縮記帳額は5百万円であり、四半期連結貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。なお、その内訳は有形固定資産5百万円であります。	※2 過年度に取得した固定資産のうち、障害者作業施設設置等助成金による圧縮記帳額は5百万円であり、連結貸借対照表計上額はこの圧縮記帳額を控除しております。なお、その内訳は有形固定資産5百万円であります。
3 当社及び連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第3四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。	3 当社及び連結子会社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当連結会計年度末の借入未実行残高は次のとおりであります。
当座貸越極度額 2,445百万円	当座貸越極度額 2,470百万円
借入実行残高 141	借入実行残高 129
差引額 2,303	差引額 2,341

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 賃借料 9,068百万円 貸倒引当金繰入額 133 ポイント引当金繰入額 40 株主優待引当金繰入額 7 給与手当 9,440 賞与引当金繰入額 928 役員退職慰労引当金繰入額 22	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 賃借料 8,791百万円 貸倒引当金繰入額 11 ポイント引当金繰入額 26 給与手当 8,945 賞与引当金繰入額 1,410 役員賞与引当金繰入額 28 役員退職慰労引当金繰入額 24

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 賃借料 3,095百万円 貸倒引当金繰入額 10 ポイント引当金繰入額 △16 株主優待引当金繰入額 △1 給与手当 3,163 賞与引当金繰入額 △102 役員退職慰労引当金繰入額 9	※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 賃借料 2,884百万円 貸倒引当金繰入額 2 ポイント引当金繰入額 0 給与手当 2,887 賞与引当金繰入額 464 役員賞与引当金繰入額 10 役員退職慰労引当金繰入額 8

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年9月1日 至 平成21年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年5月31日)	※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年5月31日)
現金及び預金勘定 13,673百万円	現金及び預金勘定 15,440百万円
預入期間が3カ月を超える定期預金 △570	預入期間が3カ月を超える定期預金 △70
現金及び現金同等物 13,103	現金及び現金同等物 15,370